

農林水産商工常任委員会提出資料

(令和元年8月20日)

項目	ページ
1 鳥取県農業青年サミット2019 inせいぶ(第58回鳥取県農村青年夏のつどい)開催について 【経営支援課】	1
2 第10回中海会議の開催結果について 【農地・水保全課】	2
3 「鳥取県有和牛種雄牛精液の適正流通に関する検討会」開催概要について 【畜産課】	別紙
4 公益財団法人鳥取県造林公社の経営改善計画の進捗状況等について 【林政企画課】	4
5 鳥取県立二十一世紀の森「森林学習展示館」のリニューアルオープンについて 【林政企画課】	6
6 談合情報が寄せられた工事の調査結果報告について 【水産課】	7
7 香港、シンガポールでの鳥取県産品の販売促進について 【販路拡大・輸出促進課】	8
8 令和元年度「食のみやこ鳥取県」特産品コンクール審査結果について 【食のみやこ推進課】	9
9 一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について 【林政企画課】	11

農 林 水 産 部



鳥取県農業青年サミット2019inせいぶ(第58回鳥取県農村青年夏のつどい)開催について

令和元年8月20日

経営支援課

次代の農業を担う県内の農業青年、新規就農者が一堂に会し、青年同士のつながりを深めるとともに、お互いのスキルアップを図り、農業に対する知識と技術を深めることによって、経営の改善に資すること、農業者としての自信と誇りを培うことを目的として開催します。

1 開催テーマ

スマート農業・未来の農業について

2 開催日時

令和元年9月11日(水) 13時30分から

3 開催場所

米子市文化ホール(米子市末広町293番地) ほか

4 主催

鳥取県農村青年会議連絡協議会、米子地区農村青年会議連絡協議会、鳥取県

5 後援

公益財団法人鳥取県農業農村担い手育成機構

6 参集範囲

県内農業青年、県内新規就農者、農業研修生、県内関係機関・団体 担当職員など

7 内容及び日程

時間	内容
13:00~13:30	受付
13:30~13:45	開会式
13:45~16:50	①講演 (仮題)スマート農業の県内での実証試験について [鳥取大学 森本英嗣 准教授] ②講演 県内での現地事例 スイカ生産部での取り組み ③アシストスーツ、労働改善ツールの紹介・展示 ④意見交換
16:50~17:00	閉会式
18:00~20:00	夕べのつどい(懇親会)

(参考)

- ・鳥取県農村青年夏のつどいは、鳥取県農村青年会議連絡協議会が主催となって、毎年度、開催しているものであり、今回で58回目を迎える。
- ・昨年度は、平成30年9月6日、「鳥取県農業青年サミット2018inちゅうぶ」として、中部地区において開催し、関係機関・団体の関係者を含めて約80名が参加した。

第10回中海会議の開催結果について

令和元年8月20日
政策調整課
水環境保全課
農地・水保全課
河川課

沿岸住民の生命と財産を守り、美しい中海の自然環境を次代に引き継ぐため、中海の水に関する諸問題を協議検討する第10回中海会議が以下のとおり開催されました。

(参考) 中海会議とは

平成21年12月19日に締結した鳥取、島根両県知事の「協定書」を踏まえ、沿岸住民の生命と財産を守り、美しい中海の自然環境を次代に引き継ぐため、新たに中海の水に関する諸問題を協議検討するため設置（平成22年4月22日）した会議。

※個別課題の検討・調整を行うため、次の4つの部会等を設置している。

- ①中海湖岸堤等整備にかかる調整会議
- ②中海の水質及び流動会議
- ③中海沿岸農地排水不良ワーキンググループ
- ④中海の利活用に関するワーキンググループ

- 1 日 時 令和元年8月6日（火）午後1時30分から3時30分まで
- 2 場 所 ホテル白鳥（松江市）
- 3 出席者 国土交通省中国地方整備局長、農林水産省中国四国農政局次長、鳥取県知事、島根県知事、米子市長、境港市副市長、松江市長、安来市長
＜オブザーバー＞ 環境省（中国四国地方環境事務所長）、防衛省（美保基地副司令）

4 概 要

(1) 中海及び境水道の堤防、護岸等の整備について

○部会「中海湖岸堤等整備に係る調整会議」（事務局：中国地方整備局出雲河川事務所）から、中海湖岸堤整備の進捗状況等について報告がなされるとともに、大橋川改修事業の条件として、大橋川拡幅の前段階で中海湖岸堤を先行して時系列的に整備する手順を踏まえ事業を進めることについて、改めて確認がなされた。

[報告の概要]

- ・鳥取県側における中海湖岸堤短期整備箇所（6箇所）のうち残る1箇所（貯木場）が今年度完成するとともに、島根県側も含め短期整備箇所が全て完了する。引き続き、短中期整備箇所の整備促進を図っていく。

※短期整備箇所の完成により、国土交通省は令和2年度からの大橋川下流狭窄部の拡幅工事着手を検討している。

[主な意見]

- ・大橋川下流狭窄部拡幅工事の前段階で短期整備箇所の整備を終えることになるが、改めて短中期整備箇所や中期整備箇所についても大橋川の流量が増加する可能性が生じる前に完成するよう確認するとともに、短中期整備箇所の米子港整備にからめ、米子市のかわまちづくり計画等との連携もお願いしたい。（鳥取県）
- ・境水道沿いの外江地区は、堤内地が低いうえに堤防が脆弱で浸水を危惧する声がある。新たに下水道計画の認可区域となった当地区の内水対策を進めるので、国交省においても堤防の整備をお願いしたい。（境港市）
→下水道の計画を確認しながら調整を進めたい。（国交省出雲河川）

(2) 中海の水質及び流動、覆砂検討について

○部会「中海の水質及び流動会議」及び「中海・覆砂検討ワーキンググループ」（事務局：島根県環境生活部）から、水質改善状況や窪地対策に伴う水質シミュレーション検討結果等について報告がなされるとともに、今後も継続して水質改善対策を進めることについて確認がなされた。

[報告の概要]

- ・中海の水質は長期的には改善傾向であり、平成30年度の水質は、COD（化学的酸素要求量）は第6期水質保

全計画の水質目標値を達成した。全窒素及び全りんは未達成であった（環境基準点 12 地点のうち、全窒素は 9 地点、全りんは 10 地点で水質目標値を達成）。なお、環境基準値はいずれも未達成であった。

- ・底質や窪地が中海の水質に与える影響についてシミュレーションしたところ、米子湾では他地点と比べて窪地の影響は相対的に高いものとなり、中でも彦名沖等の窪地の影響が大きいことが分かった。
- ・窪地の埋戻し、覆砂のパターンによる水質改善効果をシミュレーションで検討したが、いずれも水質改善効果は小さく、環境基準を満たすところまでは改善しない結果となった。

[主な意見]

- ・水産資源について、窪地の貧酸素が生態系にどのような影響を与えているか、考えていくべき。（松江市）
- ・中海で浄化が進まないのは海流の問題があると考えている。モニタリングを継続して有効な対策を検討すべき。また、浅場造成と覆砂事業について、継続的に効果を調べながら今後の対策を検討すべき。（米子市）
- ・表層と底層とは区切りがあって相互に影響し合わないとのことだが、底層に悪いものがあれば水質全体に影響して改善に結びつかないと考えている。シミュレーションと実測を継続し、水産資源や人の五感に訴える状況をフィードバックしながら検証していくべき。（鳥取県）

(3) 中海沿岸農地の排水不良について

- 「中海沿岸農地排水不良ワーキンググループ」（事務局：米子市経済部）から、中海沿岸農地の排水不良の取組状況について報告がなされるとともに、引き続き、関係機関が公共残土に関する情報の共有化を図り、客土（農地嵩上げ）材としての公共残土受け入れを促進していくことについて確認がなされた。

[報告の概要]

- ・崎津モデルほ場（A=3.3ha）において、平成30年度はA=0.09haの客土を実施し、全体進捗が4.4%となった。
- ・公共残土による客土が排水不良対策に一定の効果を上げていることから、引き続き公共残土（客土材）の提供について、関係機関への協力要請を行う。

(4) 中海の利活用について

- 「中海の利活用に関するワーキンググループ」（事務局：鳥取県令和新时代創造本部）から、中海及びその周辺の利活用の状況について報告がなされるとともに、今後、国交省との連携により、利活用促進に向けた環境整備を強化していくことについて確認がなされた。

[報告の概要]

- ・中海北部周遊サイクリングコースの設定（松江市）や白砂青松の弓ヶ浜サイクリングコース（境港市～米子市）の全線開通に加え、水陸両用機による遊覧飛行（中海北西岸に整備された「なかうみスカイポート」を拠点）など、中海の魅力を発信する新たな取組がスタートした。

[主な意見及び提案]

- ・サイクリングコースについて、安全性や快適性を向上のため道路改良について要望したい。（松江市）
- ・中海利活用の活性化に向け、サイクリングやクルージングなどの促進に向けた「中海利活用検討会（仮称）」を設置し、利活用に必要となる各種機能整備など共に取り組みたい。（国交省出雲河川）

公益財団法人鳥取県造林公社の経営改善計画の進捗状況等について

令和元年8月20日
林政企画課

平成25年2月に策定された公益財団法人鳥取県造林公社（以下、公社という。）の「経営改革プラン（平成25年度～令和66年度）」（以下、プランという。）を基にした公社の「第1期経営改善計画（平成25年度～令和4年度）」（以下、第1期計画という。）の進捗状況等について報告します。

1 経営改善計画の進捗状況

(1) 利用間伐の状況

- 平成30年度の利用間伐は、夏場の集中豪雨・台風による山地災害で、路網が被災し搬出ができなかったことから、実施面積は284ha、搬出材積は24.1千m³と、共に計画を下回ったが、第1期計画期間中の累計で見ると実施面積、搬出材積のいずれも計画を上回る進捗となっている。

【利用間伐の計画及び実績】

項 目		H25	H26	H27	H28	H29	H30	計
面積 (ha)	第1期計画	109	120	160	210	270	340	1,209
	実 績	127	161	250	213	312	284	1,347
	実績/計画	117%	134%	156%	101%	116%	84%	111%
材積 (千m ³)	第1期計画	6	9	13	17	22	28	95
	実 績	6.4	13.6	23.9	19.9	21.8	24.1	109.7
	実績/計画	107%	151%	184%	117%	99%	86%	115%

(2) 収支の状況

- 平成30年度は、利用間伐の実績は計画を下回ったが、7齢級以上の成長の良い森林を対象として効率の良い搬出を進めることができたことなどから、事業収入等(650.5百万円)は、計画(622.6百万円)を上回り、これに対応する直接事業費等(612.6百万円)を差し引くと37.9百万円の黒字となった。
- これを第1期計画期間中の累計で見ると、赤字幅は計画(▲142.9百万円)に対して(▲16.7百万円)圧縮されているが、一層の経営改善が必要な状況となっている。

【鳥取県造林公社の収支の状況】

(単位:百万円)

区分		H25	H26	H27	H28	H29	H30	計	
収入	事業収入等(間伐材等立木売却収入、立木補償、補助金等収入)①	計画	260.2	250.2	295.6	360.7	454.0	622.6	2,243.3
		実績	285.6	534.6	624.9	502.6	661.9	650.5	3,260.1
		実績/計画	109.8%	213.7%	211.4%	139.3%	145.8%	104.5%	145.3%
	その他の収入(借入金、利子助成等)②	計画	452.5	407.2	379.8	335.8	303.4	224.4	2,103.1
		実績	451.0	449.9	391.4	335.9	327.3	343.1	2,298.6
		実績/計画	99.7%	110.5%	103.1%	100.0%	107.9%	152.9%	109.3%
収入計(①+②)		計画	712.7	657.4	675.4	696.5	757.4	847.0	4,346.4
		実績	736.6	984.5	1,016.3	838.5	989.2	993.6	5,558.7
		実績/計画	103.4%	149.8%	150.5%	120.4%	130.6%	117.3%	127.9%
支出	直接事業費等(造林施設費、保育費、人件費、事務費)③	計画	362.2	321.1	353.0	392.9	441.3	515.7	2,386.2
		実績	331.2	549.5	573.3	531.5	678.7	612.6	3,276.8
		実績/計画	91.4%	171.1%	162.4%	135.3%	153.8%	118.8%	137.3%
	その他(日本政策金融公庫への償還金・利息等)④	計画	350.5	336.2	323.2	303.6	316.0	331.3	1,960.8
		実績	406.0	421.5	415.6	315.8	361.6	340.8	2,261.3
		実績/計画	115.8%	125.4%	128.6%	104.0%	114.4%	102.9%	115.3%
支出計(③+④)		計画	712.7	657.3	676.2	696.5	757.3	847.0	4,347.0
		実績	737.2	971.0	988.9	847.3	1,040.3	953.4	5,538.1
		実績/計画	103.4%	147.7%	146.2%	121.7%	137.4%	112.6%	127.4%

※各年度の「収入計」と「支出計」は、その差額が翌年度への繰越しへ反映されることから、一致しない。

(単位:百万円)

区 分		H25	H26	H27	H28	H29	H30	計
事業収入等①－直接事業費等③	計画	▲102.0	▲70.9	▲57.4	▲32.2	12.7	106.9	▲142.9
	実績	▲45.6	▲14.9	51.6	▲28.9	▲16.8	37.9	▲16.7

2 プランの見直し

プランでは、概ね5年毎に進捗状況や社会情勢の変化を踏まえた経営見直しを行うこととしており、県と公社で平成30年度末にプランの長期収支見直し等を見直し、平成31年2月13日の常任委員会で報告した。これを踏まえて、公社はプランを改訂し8月7日の理事会で承認を受けた。

(1) 長期収支見直し

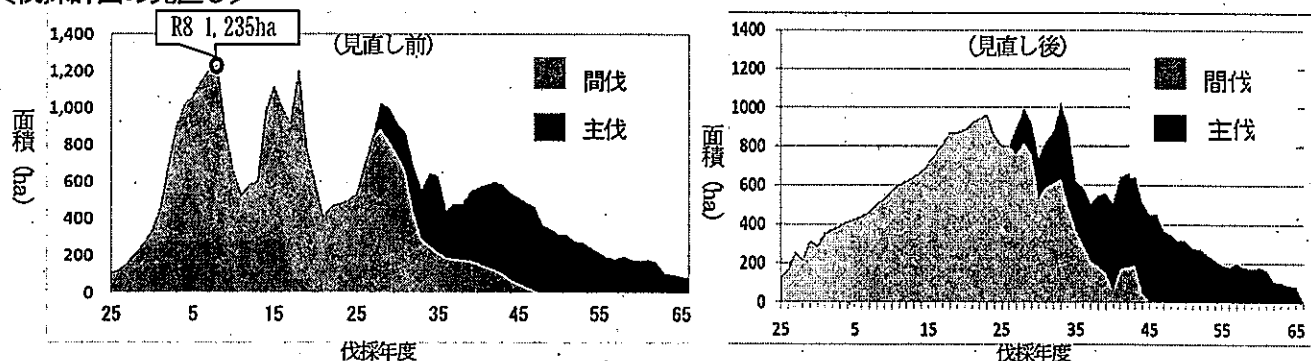
- ・平成25年度以降に明らかになった材価や出荷材積の動向、事業進捗の状況を踏まえて見直しを行った。
- ・全県的な間伐施業の活性化により森林組合等の労働力が不足し、公社においても発注が計画通りに進まないことが予想されることから、間伐等のピーク（令和8年度1, 235ha）をなだらかにするよう後方へ繰延べた。
- ・最終収支（令和66年度）は、現行計画で13億円の黒字としていたが、この度の見直しにより10億円の黒字に下方修正（▲3億円）した。

<長期収支の見直し内容>

項目	内容	効果(億円)
間伐収入の増加 (販売収入、補助金)	・間伐対象の立木の伐採時期を延長することで、立木の成長を促し材積の増加を図る。 (3回目間伐: 33年→40年, 4回目間伐: 48年→50年)	+13
皆伐から更新伐(※) へシフト (更新伐比率の修正: 50%→80%)	・立木を残した状態で土地所有者に返還を進める。これにより、所有者は再造林が不要となり、立木を成長させ高値で販売することが可能となる。(国庫補助事業の対象)	+21
事業費 (間伐・主伐)	・発注先の労務単価が上昇しており、今後はレーザー航測等新技術の積極的な活用や新たな森林管理システムとの連携などによる経費削減に努める。	▲26
管理運営経費	・利用間伐事業量に見合った組織体制の見直し等に努める。	▲1.1
合 計		▲3

※更新伐：皆伐が森林を構成する林木の全部を伐採することであるのに対し、更新伐は、人工林における複層林の造成や広葉樹林化等を目的として、林木の一部を伐採するもの。

<伐採計画の見直し>



(2) 主な取組

区分	内 容
継続	<ul style="list-style-type: none"> ・木材販売収入の拡大(車両系高性能林業機械による作業システム、コスト縮減、路網整備の推進) ・造林補助金の積極的な活用、直送方式の推進、隣接森林の事業主体等との連携 ・販路及び木材需要の拡大 など
新規	<ul style="list-style-type: none"> ・レーザー航測データの活用 (正確な単木情報や地形情報を活用。多くの現地調査を省略し、効率的な路網計画の検討を進めるほか、全県の公社造林地を、立木のまま、ひとつのストックヤードとして機能させ、計画的・効率的な利用間伐により収益性を向上。) ・新たな森林管理システムとの連携 (公社が豊富に持つ奥地林の森林所有者情報を市町村に提供。システム対象地と一体的施業が可能エリアにおいて意向調査に協力する等、当該森林の市町村管理を推進し、市町村が整備する路網の共用を受けることなどにより、公社造林での施業を効率化。) ・更新伐の更なる推進(更新伐比率の修正: 50%→80%) ・公社営林としての造林地ブランドの形成 など

鳥取県立二十一世紀の森「森林学習展示館」のリニューアルオープンについて

令和元年8月20日
林政企画課

鳥取県立二十一世紀の森「森林学習展示館」は、森林・林業の学習施設として、昭和60年に林業試験場に併設して開館しましたが、管理運営とサービス向上のため、令和元年度に指定管理制度を導入し、このたび、県産材を使った大型遊具を設置するなどの改修を行い、リニューアルオープンしました。

1 展示館リニューアルの概要

(1) 目的

- ・ 県の森林・環境教育、木材利用促進、木育の推進拠点を整備し、木を使い森を育てる機運の醸成を図ることを目的とした指定管理のコンセプトを基に、施設の利用促進を図るため、レイアウト変更及び内装修繕を実施。

(2) 内容

- ・ 展示館を、木育、森林・林業展示、木材展示にゾーニングし、木育ゾーンには県産材を使った大型遊具「木育広場」を設置するとともに、各種イベントが開催可能なフリースペースとして活用。
- ・ 樹幹標本などの既存の展示物の配置替えや木材の利活用についての新たな展示を設置。壁面を使った各種展示も実施。



2 リニューアルオープン記念イベントの開催

- (1) 主催者：とっどりの森を守り木を活かす会
- (2) 日時：令和元年8月3日（土）午前11時30分から午後3時30分
- (3) 場所：二十一世紀の森 森林学習展示館ほか
- (4) 主な内容：オープニングセレモニー、森の音楽会、木工品づくり
- (5) 来場者数：約4,000名



オープニングセレモニー
森のようちえん「ぱっか」による合唱



森の音楽会
ヴァイオリン演奏



木工品づくり
木製パズル他

【参考】鳥取県立二十一世紀の森の概要

- ・ 所在地 鳥取市河原町稲常113番地(林業試験場に併設)
- ・ 指定管理者 とっどりの森を守り木を活かす会
 〔 代表者：鳥取県木材協同組合連合会 代表理事 前田八壽彦
 構成員：鳥取県木材協同組合連合会、(公財)鳥取県林業担い手育成財団 〕
- ・ 管理区域 森林学習展示館、林業技術工芸実習館、とっどり林業技術訓練センター及びその周辺区域(森林部分は除く。)
- ・ 開園時間 午前9時から午後4時30分 ・ 休園日 毎週火曜日及び年末年始

談合情報が寄せられた工事の調査結果報告について

令和元年8月20日
農林水産部水産振興局水産課
総務部 営繕課

7月19日(金)の常任委員会へ中間報告を行った談合情報が寄せられた工事に関して、7月30日(火)に開催された鳥取県建設工事入札・契約審議会(以下「審議会」という。)へ最終の調査結果を報告いたしました。

その結果、審議会において『談合の事実が認められない』と判断され、大松建設・大協組・岩崎組特定建設工事共同企業体に対して落札者の決定を行いましたので、その概要を報告します。

記

1 審議会での判断結果

寄せられた談合情報、入札結果及び調査結果について総合的に判断した結果、境漁港高度衛生管理型市場整備事業2号上屋新築工事(1工区)(建築)の入札について、当審議会では『談合の事実が認められない』と判断した。

2 調査の概要等

6/28	談合情報の入手
7/1 7/1~	開札 ⇒ 総合点1位のJV代表者名(大松建設)が情報と一致したため落札者の決定を保留 鳥取県談合情報対応マニュアルに基づく調査を開始(積算内訳書及び見積書分析調査の実施)
7/3	入札参加者全社に対する事情聴取(入札責任者を対象)
7/10	審議会への中間報告 ⇒ 積算担当者、見積徴取先に対しても聞き取りをしてはとの意見
7/19	常任委員会への中間報告
7/22	入札参加者に対する事情聴取(各社に出向き、積算担当者を対象に実施) 積算担当者へ見積査定率の考え方、積算資料・積算システムの確認等を行った結果、各社とも独自に算定しており、談合の可能性を疑わせる内容は確認できなかった。
7/24~25	見積徴取先(下請業者)への聞き取り 共同企業体両社とも協力会社を中心に見積りを徴取しており、見積徴取先の担当者へ聞き取りを行った結果、不自然な状況は確認できなかった。
7/30	鳥取県建設工事入札・契約審議会へ調査結果報告 ⇒ 「談合の事実が認められない」と判断
7/31	大松建設・大協組・岩崎組特定建設工事共同企業体に対し、落札者決定の通知
8/6	公正取引委員会へ本件内容を報告

<経緯等>

○ 談合情報が寄せられた時期及び内容

6月28日(金) 元気づくり総本部広報課宛に匿名の者から葉書により、「境漁港高度衛生管理型2号上屋新築工事にて 1工区 大松建設JVが落札します」と記された情報が寄せられた。

○ 工事概要

- (1) 工事名 境漁港高度衛生管理型市場整備事業2号上屋新築工事(1工区)(建築)
- (2) 予定価格 1,860,000,000円 税抜(※予定価格は事前公表)
- (3) 発注方式 簡易評価型総合評価競争入札方式(県内3社によるJV)
- (4) 入札参加者 大松建設・大協組・岩崎組特定建設工事共同企業体(以下「大松JV」という。)
平田組・美保テクノス・金田工務店特定建設工事共同企業体(以下「平田JV」という。)

○ 入札結果

応札者	応札額 (税抜)	応札額/ 予定価格	入札価格点数 ①	施工能力点数 ②	総合点①+② (97点満点)	順位
大松JV	1,835,800,000円	98.69%	60.000	36.100	96.100	1
平田JV	1,839,000,000円	98.87%	59.895	33.930	93.825	2

香港、シンガポールでの鳥取県産品の販売促進について

令和元年8月20日
販路拡大・輸出促進課

香港、シンガポールにおける鳥取県産品の販売促進の取組について、以下のとおり報告します。

1 香港での鳥取すいか販売促進

イオン香港での県産品の販売が好評であることを受け、本年度もすいか、梨（二十世紀）、シャインマスカットなど旬の時期ごとに継続的な県産農産物の輸出及び販売促進を行う。

その第一弾として「鳥取すいかフェア」を実施した。

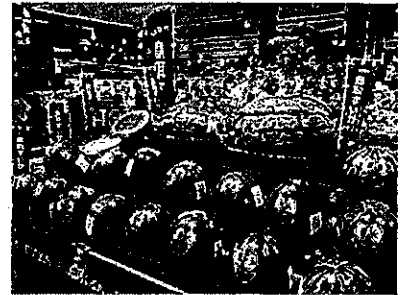
(1) 「鳥取すいかフェア」(PR 販売)

①期 間 7月5日(金)～8月5日(月)

②場 所 イオン香港 全12店舗

③概 要

- ・鳥取すいか専用の販売コーナーの設置
(のぼり、ポスター、ジャンボすいか等で装飾)
- ・1玉販売のほか、香港で人気のあるカットすいかを販売
- ・販売売価：1玉 約4,100円、1/2玉 約2,200円、1/4玉 約1,100円、1/8玉 約600円
- ・好評につき用意したすいか2,000玉は完売した。特にカットすいかの売れ行きが好調だった。



すいか販売コーナー

(2) 「鳥取すいか販売促進イベント」(全農とっとり、県共催)

①期 間 7月12日(金)～7月14日(日)

②場 所 イオン香港 イオンスタイル コーンヒル店 ※アジアで最も売上の多いイオン店舗

③概 要 店内イベント広場でのすいかのクイズや鳥取県観光PRは、家族連れを中心に盛況だった。

2 シンガポールでのレストランフェア

シンガポールで人気の日本料理店「TEPPEI(てっぺい)」において、鳥取フェアを開催している。

①期 間 8月1日(木)～8月31日(土)

②場 所 日本料理店「TEPPEI」のほか、グループ店である居酒屋風レストラン、弁当屋等

③主なメニュー

ベニズワイガニを用いた海鮮丼、アゴカツ丼等

④主な県産品

- ・カニ関係：ベニズワイガニ
- ・農産物：やなぎまつたけ、ペルルメロン、ピオーネ等
- ・加工品：赤でん、アゴカツ、とうふステーキ、刺身こんにゃく、梅ジュース等

⑤その他

8月1日(木)から2日(金)に観光客誘致に向けたトップセールスを行うため、シンガポールへ渡航した平井知事が「TEPPEI」を訪問し、鳥取フェア開催のお礼と一層の取引拡大を要請した。季節ごとに鳥取フェアを開催したい等、前向きな回答をいただいた。



「TEPPEI」の店舗外観



ベニズワイガニをふんだんに用いた
「贅沢ベニズワイガニひつまぶし」

令和元年度「食のみやこ鳥取県」特産品コンクール審査結果について

令和元年8月20日
食のみやこ推進課

本県産の農林水産物を主原料とした加工食品や本県産農林水産物の特徴を活かした加工食品の中から、優れた商品を表彰・PRすることにより、新商品の販路開拓等を促進することを目的として、「食のみやこ鳥取県」特産品コンクールを開催したので、その結果を報告します。

1 審査結果

(1) 最優秀賞 ○事業者名：パン工房ほとり

商品名：ほとり食パン

講評：大山小麦の3種類のパン種の使用や、水分量の工夫等こだわりが感じられ、風味もよく、もちりとした食感でとてもおいしい。形状も小型でインパクトがあり、食べやすく女性・高齢者に向く。今後冷凍による販売を進めることで市場性の拡大が期待できる。



(2) 優秀賞 ○事業者名：宝福一有限会社

商品名：福ノ誉（じゃことらっきょうの生ラー油、くだき梅らっきょう）

○事業者名：ペペネーロ イタリア館

商品名：鹿肉のブラッサート

○事業者名：日南トマト加工株式会社

商品名：完熟とまとたっぷりハヤシ

(3) 優良賞 ○事業者名：株式会社プレマスペース

商品名：水をいれるだけ！レンジで簡単に！おからケーキミックス

○事業者名：ぽっぶんR u - F u

商品名：鳥取ポップコーン はちみつ生姜味

○事業者名：武蔵屋食堂

商品名：素ラーメン

2 審査会の概要

予備審査を通過した22商品（12事業者）の中から、令和元年7月26日（金）に審査会を開催して、品質（食味等）、パッケージ及び市場性を審査の上、受賞商品を選定した。

審査委員：鳥取短期大学生活学科教授 松島 文子氏ほか10名

対象商品：3年以内（平成28年4月1日～平成31年3月31日）に開発・改良された販売商品

開始年度：平成20年度（今回で12回目）

3 受賞商品のPR等の支援

(1) 最優秀賞受賞商品は、全国食品コンクール(優良ふるさと食品中央コンクール)へ県推薦商品として応募する。

<近年の中央コンクール受賞歴>

平成23年度農林水産大臣賞 「紅ずわいがにかにおこわ」（有限会社前田水産）

平成26年度農林水産大臣賞 「天女の梨クーヘン」（株式会社プレマスペース）


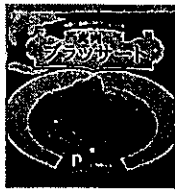

平成28年度農林水産省食料産業局長賞 「梨花 RINKA」（株式会社ホテルハーベストイン米子）

(2) 日本海新聞「食いたんぼう」コーナーでの掲載やBSSラジオ「食のみやこ鳥取探検隊が行く」コーナーで事業者生出演による紹介を優先的に実施する。

(3) 県や商工団体等が主催する商談会等への参加を案内する。

(4) 鳥取県民の日フェア等食のみやこ関連イベント、県のホームページ等で紹介する。

令和元年度「食のみやこ鳥取県」特産品コンクール受賞商品一覧

賞	事業者名	商品名(税込価格)	商品画像
最優秀賞	パン工房ほとり	ほとり食パン(400円~480円)	
優秀賞	宝福一有限会社	福ノ誉(じゃことらっきょうの生ラー油、くだき梅らっきょう)(各680円)	
	ペペネーロ イタリア館	鹿肉のブラッサート(1,188円)	
	日南トマト加工株式会社	完熟とまとたっぷりハヤシ(650円)	
優良賞	株式会社プレマスペース	水をいれるだけ!レンジで簡単に!おからケーキミックス(356円)	
	ぽっぷんRuーFu	鳥取ポップコーン はちみつ生姜味(324円)	
	武蔵屋食堂	素ラーメン(537円)	

一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について

令和元年8月20日
林政企画課

【新規分】

主務課	業務名	業務場所 の所在地	契約の相手方	契約金額	工期	契約年月日	業務内容	備 考
林政企画課	平成31年度森林航空 レーザ測量業務(その1)	鳥取県(鳥取県) 那賀郡八雲町 野原三輪 東白野町 野町、江原町 の民有林区域	株式会社バスコ 岡山支店 支店長 岩橋 徹	211,200,000円 (設計額 211,791,600円) 落札率 99.7%	令和元年7月19日 ～ 令和2年3月13日	令和元年7月19日	【業務内容】 航空レーザ測量を実施した詳細な標高データ、地形解析データ及び森林 情報解析データの作成(測量面積:58,031ha)	随意契約(公募型プロポーザル) 応募社数:5社 評価委員会開催日: 令和元年6月27日 開札日(見直し提出日) 令和元年7月16日

